

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 31年3月期3Q | 3,150,000株 | 30年3月期 | 3,150,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年3月期3Q | 260株 | 30年3月期 | 211株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 31年3月期3Q | 3,149,769株 | 30年3月期3Q | 3,149,789株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移し、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善を背景に回復基調が持続しており、個人消費についても底堅く推移いたしました。また、世界経済においては、米国の通商政策の動向や中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクなど、景気の先行きに不透明感はあるものの、全体的に緩やかな回復基調となりました。

食品飲料業界におきましては、消費者の健康志向や個食需要の増加など、多様なニーズに合わせた商品開発が活発化しておりますが、国内市場の縮小化による同業他社との競争激化や原材料価格の高騰など、企業収益は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な供給体制並びに品質管理体制を維持・強化するとともに、付加価値の高い新規商品の提案を積極的に行い、取扱品目の増加及び取引先の拡大に努めてまいりました。PB飲料製品の販売数量が減少したものの、食品副原料、乳製品、果汁・ピューレ類等の農産物加工品の販売数量が増加したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,529,303千円（前年同期比3.1%増）となりました。販売活動にともなう諸経費などの販売管理費が減少したことに加え、前年同期に比べ売上総利益率が上昇したことから、営業利益は602,614千円（前年同期比49.7%増）、経常利益は598,207千円（前年同期比49.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は407,076千円（前年同期比50.2%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、飲料メーカー各社、多様化した消費者ニーズに応えるため、重点ブランドの強化や新たな付加価値を備えた商品の開発を推し進めておりますが、小売優位の情勢や原材料高騰もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先の拡大と利益率改善を図ってまいりました。大手コンビニエンスストア向けPB飲料製品の販売数量が減少したものの、主力商品であるビタミンCなどの食品副原料、生クリームなどの乳製品、野菜汁や果汁・ピューレ類などの農産物加工品の販売数量が増加いたしました。

この結果、売上高は23,839,097千円（前年同期比2.9%増）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。菓子メーカー向けPB商品の販売数量は減少したものの、業務用バルクアイスの販売数量が増加したことに加え、新規受注のPB商品の製造が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は577,574千円（前年同期比11.6%増）となりました。

<その他>

その他においては、FC事業がありますが、東京大手町地区にてコンビニエンスストアを4店舗経営しております。同地区の就労人口の変動による影響があるものの、SQCの向上や店舗運営の効率化に努めたことにより、前年同期に比べ来店客数が増加し、販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は613,970千円（前年同期比3.0%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ370,820千円増加し、10,282,847千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ13,754千円増加し、1,257,486千円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて384,574千円増加し、11,540,333千円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ243,877千円増加し、7,482,246千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ209,695千円減少し、1,399,627千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ34,182千円増加し、8,881,874千円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ350,392千円増加し、2,658,459千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年10月29日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,820,721 | 2,459,274 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,432,843 | 5,408,432 |
| 商品及び製品 | 1,575,866 | 1,488,273 |
| 未着商品 | 589,708 | 446,395 |
| 原材料及び貯蔵品 | 25,955 | 27,109 |
| 未収入金 | 445,770 | 327,865 |
| その他 | 27,590 | 131,638 |
| 貸倒引当金 | △6,430 | △6,144 |
| 流動資産合計 | 9,912,026 | 10,282,847 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 446,464 | 438,863 |
| 無形固定資産 | 25,181 | 11,719 |
| 投資その他の資産 | 772,086 | 806,903 |
| 固定資産合計 | 1,243,732 | 1,257,486 |
| 資産合計 | 11,155,759 | 11,540,333 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 5,323,541 | 5,819,873 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 791,964 | 724,473 |
| 未払金 | 825,951 | 595,706 |
| 未払法人税等 | 137,476 | 85,583 |
| 賞与引当金 | 38,521 | 22,800 |
| その他 | 120,913 | 233,809 |
| 流動負債合計 | 7,238,368 | 7,482,246 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,522,624 | 1,293,963 |
| 資産除去債務 | 4,513 | 4,572 |
| その他 | 82,185 | 101,092 |
| 固定負債合計 | 1,609,322 | 1,399,627 |
| 負債合計 | 8,847,691 | 8,881,874 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 363,387 | 363,387 |
| 資本剰余金 | 292,475 | 292,475 |
| 利益剰余金 | 1,418,905 | 1,722,038 |
| 自己株式 | △129 | △200 |
| 株主資本合計 | 2,074,638 | 2,377,701 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 169,873 | 192,736 |
| 繰延ヘッジ損益 | △7,165 | △1,232 |
| 為替換算調整勘定 | 23,775 | 34,094 |
| その他の包括利益累計額合計 | 186,483 | 225,598 |
| 非支配株主持分 | 46,945 | 55,159 |
| 純資産合計 | 2,308,067 | 2,658,459 |
| 負債純資産合計 | 11,155,759 | 11,540,333 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 23,793,841 | 24,529,303 |
| 売上原価 | 21,670,091 | 22,233,704 |
| 売上総利益 | 2,123,750 | 2,295,598 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,721,327 | 1,692,984 |
| 営業利益 | 402,422 | 602,614 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 5,747 | 6,173 |
| 為替差益 | 347 | — |
| 受取手数料 | 4,833 | 4,833 |
| 受取補償金 | 3,739 | 2,060 |
| その他 | 771 | 2,012 |
| 営業外収益合計 | 15,440 | 15,078 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,531 | 7,862 |
| 為替差損 | — | 10,365 |
| 支払補償費 | 4,172 | 1,059 |
| その他 | 4,971 | 197 |
| 営業外費用合計 | 16,675 | 19,485 |
| 経常利益 | 401,187 | 598,207 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 401,187 | 598,207 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 129,867 | 166,871 |
| 法人税等調整額 | △520 | 18,085 |
| 法人税等合計 | 129,347 | 184,957 |
| 四半期純利益 | 271,840 | 413,249 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 807 | 6,173 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 271,032 | 407,076 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 271,840 | 413,249 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 32,738 | 22,862 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2,030 | 5,932 |
| 為替換算調整勘定 | 2,208 | 12,360 |
| その他の包括利益合計 | 32,916 | 41,155 |
| 四半期包括利益 | 304,756 | 454,405 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 303,561 | 446,191 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,195 | 8,213 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|------------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 卸売事業 | 製造販売 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,041,886 | 156,003 | 23,197,890 | 595,951 | 23,793,841 | — | 23,793,841 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 136,586 | 361,475 | 498,062 | — | 498,062 | △498,062 | — |
| 計 | 23,178,472 | 517,479 | 23,695,952 | 595,951 | 24,291,903 | △498,062 | 23,793,841 |
| セグメント利益 | 399,058 | 704 | 399,763 | 3,776 | 403,539 | △1,116 | 402,422 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,116千円は、セグメント間取引消去△1,116千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|------------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 卸売事業 | 製造販売 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,693,281 | 222,051 | 23,915,332 | 613,970 | 24,529,303 | — | 24,529,303 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 145,816 | 355,522 | 501,338 | — | 501,338 | △501,338 | — |
| 計 | 23,839,097 | 577,574 | 24,416,671 | 613,970 | 25,030,641 | △501,338 | 24,529,303 |
| セグメント利益 | 581,865 | 13,699 | 595,565 | 8,554 | 604,120 | △1,505 | 602,614 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,505千円は、セグメント間取引消去△1,505千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。